第３回　社会言語科学会研究大会　予稿集

目　次

大会プログラム …… p. 4

招待講演者・研究発表者・シンポジウムパネリスト紹介 …… p. 6

Ⅰ．研究発表

堂寺　泉「外国系児童の授業参加と言語学習――国語と日本語をどうつなげるか」 …… p. 7

ケネラー佐智子「『じゃないですか』の使用にみる語用論的制約の遵守とポライトネスの関係」 …… p. 13

辻　大介「『とか』弁のコミュニケーション心理」 …… p. 19

浜崎なおみ「幼児と母親との間の発話に見られる明確化要求――2歳から3歳の幼児を対象に」 …… p. 25

仁木博子「劇化の場面における非言語行動の分析――小学校2年生の授業実践の過程で」 …… p. 31

朝日祥之「方言接触場面におけるLinguistic-Accommodation――イギリスに在住する日本人の場合」 …… p. 37

元　智恩「日韓言語行動の対照研究――断り行動のモデル化をめざして」 …… p. 43

松尾　慎「ブラジル日系人の言語使用の実態――ブラジル南マットグロッソ州
ドウラードス市共栄移住地におけるインタビュー調査より」 …… p. 49

佐野直子「『一つの言語』が依拠するもの
――オクシタン語／カタルーニャ語と「バレンシア語」の関係の事例」 …… p. 55

山口和代「日本語習得と文化理解――中国人および台湾人留学生の日本語表現にみる文化的要因」 …… p. 61

土井香乙里「Interruption と情報構造――英語の対談コンテクストにおける分析」 …… p. 67

新井香里「あいづちにあらわれる日本語の義務的な特徴について――日英語対照研究の観点から」 …… p. 73

嶺川由季「ゼミで見られる『対話』と『共話』の使い分け――留学生と日本人学生の一比較」 …… p. 78

オストハイダ・テーヤ「対外国人言語行動の多様性」 …… p. 84

マリィ・クレア「日本語におけるジェンダー研究の再検討――セクシュアリテを中心に」 …… p. 90

苅田修司「日本語の破格的有題文について――その生成メカニズムと意識との関連」 …… p. 96

内田らら「話者交替が果たす機能とは――メタコミュニケーションからの日英語比較」 …… p. 102

武田加奈子「接触場面における断わり行動の談話――言語管理プロセスの観点から」 …… p. 108

藤原智栄美「電話会話の終結部に見られる性差」 …… p. 114

秦野悦子「語用論知識の獲得における言語入力の役割」 …… p. 120

齋藤孝滋・森節子・工藤香寿美
「『方言資料叢刊』を用いた全国挨拶行動の言語行動学的・方言学的研究」 …… p. 126

冨田彩子「石川県加賀地域における否定過去表現の社会言語地理学的研究」 …… p. 132

Ⅱ．シンポジウム

橋田浩一「シンポジウム　言語データの新たな可能性: コーパスを作る・コーパスを使う」開催趣旨 p. 139

熊谷智子「談話タグの標準化――データの共有に向けた試み」 …… p. 140

綿貫啓子「モーションキャプチャシステムを用いた対話データの収集」 …… p. 14

橋田浩一「CDA: 言語データの構造化とその応用」 …… p. 14